

◆子供地球基金主催・ファンドレイジングパーティーのご報告

9月28日 恵比寿ガーデンプレイスにあるシャトーレストラン「ジョエル・ロブションにて、子供地球基金Fund Raising Party 2007を開催。今回は90名のお客様にご来場頂きました。17社よりラッフル、ギフト等のご協賛を賜った他、ラッフル販売や、千住博画伯の「湖畔朝陽図」サイレントオークションでも、多くのご購入・ご入札を頂戴致しました。改めて、心よりお礼申し上げます。

今回のパーティーにおけるご参加費、ラッフル売上、グッズ販売売上などの収益金は、来秋完成予定のクロアチアの第1号キッズ・アース・ホームの再建事業に活用させていただきます。同ホームは、社会主義体制下で政府より借り受けた建物で活動を続けて参りました。今後のより安定した活動拠点確保の為、新たにホーム建設地購入および建築を実現させ、戦争被災地における子どもたちの心のケアの充実をはかって参りたいと思っております。



◆セリーヌによるチャリティキャンペーン

韓国の有名女優Song Hye Gyoとコラボレートしたセリーヌの限定バッグMs. Song Bag。世界限定発売を記念し、日本でのこのバッグの売り上げを子供地球基金に寄付して下さるといふチャリティ企画が実施されました。それに加えて、11月30日～12月2日までの3日間、セリーヌ直営店舗では子供地球基金チャリティキャンペーンが行われ、子どもの絵の展示（銀座店のみ）や募金箱の設置、また3日間の売り上げの一部がチャリティとして寄付されました。大人の女性がおしゃれをすることで、さりげなくチャリティに参加できる・・・そんなこれからの新しいチャリティのあり方を形にしてくださいました。



◆子どもたちの絵がクリスマスケーキに

デザイナーRitsuko SHIRAHAMAとクイーンアリスの石鍋シェフがコラボレート。オートクチュールなクリスマスケーキが出来上がりました。イチゴを使った華やかなケーキのボックスには、子供地球基金に寄せられた子どもたちの絵がデザインされています。「-LOVE PLANET- かけがえのない地球を子どもたちの世に残したい」という想いが籠められています。

今年のクリスマスは、世界の子どもたちに思いを馳せて、いつもよりもっと優しい気持ちで迎えてみませんか。

全国の大丸にて限定発売。価格4,500円（税込4,725円）

<http://www.daimaru.cp.jp>



◆平成18年度 総会開催のご報告

去る10月31日（水）子供地球基金事務局にて、平成18年度通常総会が開催され、以下の議案について全て承認されましたことをご報告致します。

第1号議案 平成18年度活動報告・収支決算 第2号議案 平成19年度活動計画・予算案  
《平成18年度収支計算書（平成18年9月1日～平成19年8月31日）》

1. 収入の部	会費収入	3,263,977
	寄付金収入	50,103,620
	その他収入	8,163
	<b>収入合計</b>	<b>53,375,760</b>
2. 支出の部	ホーム事業	18,425,536
	展覧会事業	5,186,178
	広報事業	3,319,527
	支援イベント事業	5,639,144
	運営管理費	13,550,484
	<b>支出合計</b>	<b>46,120,869</b>

■ NEW MEMBER

新規にご入会いただいた方々です

【個人会員】 小佐野清美

(2007年9月1日～2007年11月30日現在・五十首順)



雪だるまの結婚式 / Marriage of Snowman  
ハイ・ペン・ジャオ / Hai Peng Jiao  
中国 / China  
7歳 / Age 7

## 特集 大水害で打撃をうけた フィリピン支援

フィリピン北東部、マニラ市から約60キロのところにあるガバン市とバラカン州を訪れ、寄贈活動ならびに、そこに暮らす児童の心のケアを目的としたアートワークショップを実施しました。



今回訪れたバガン市とバラカン州は、特に被害の大きかった地域のひとつで、もともと産業もあまりなく最貧地でありながら、3年

前の台風で大打撃をうけ、大多数の死者・行方不明者を出しました。生きながらえた人々の中でも、住居を流され、仕事も失い、すべてを水に流されてしまい、行き場を失ってしまった人々がようやく集落をつくり、今立ち上がろうとしています。当然子どもたちが通う学校にはまだありません。それでもなんとか、屋根のむき出しの小さな3つの教室をたて、小学校1～6年生の子どもたちが基礎教育をうけています。とはいえ、扇風機もなく、熱帯地域のフィリピンはとても暑く、スクールのたびに授業を中断してしまう悪環境です。子供地球基金は、少しでも子どもたちが子どもらしい環境の中で安心して授業にとりくむことができるよう、学用品やおもちゃ、衣料品をはじめとする物資の寄贈を実施しました。

### 【タペストリープロジェクトで世界の子どもたちと手を取り合って】

水害で大切な、ものを失った人々の精神的ダメージは、数年たった今も、すべてが取り去られたとはいえません。被災した子ども



## コラム DEAR KIDS, DEAR THE EARTH vol.19

顧問 岩男壽美子(慶成義塾大学・武蔵工業大学 名誉教授 社会心理学)

私が子供地球基金の存在を知ったのは、ある日、鳥居晴美代表から子供地球基金の活動を知らせるメールが届いたことによる。丁度その頃私は、40年を越える大学での仕事に終止符を打ち、これまでとは違ったことをしたいと漠然と考えていた矢先であったので、子供地球基金のボランティア募集に参加することにした。

そのときのワークショップは、病気で入院している子供たちの「ピクニック」のために必要となる「お弁当」作りであった。残念ながら私は、子供の頃から先手が不器用なことにかけては常にクラスのトップであった。ミシンで小物を作る課題などができると、指を縫うのではないかと恐怖心にかかれ、仲良しの友達に助けってもらったものである。

しかし、そんな過去は都合よく忘れて参加した「お弁当づくり」は、私を十分童心に戻らせてくれ、実に楽しいものであった。それ以上に参加してよかったことは、スタッフをはじめ素晴らしい若い世代の方々が、力を合わせて「子供が子供を助ける」という理念の具体化を着実に進められることを実感できたことである。

どうみても「いちご」には見えない私の作った「いちご」入りの「お弁当」が当たった子供に心の中で謝りながら、これからも私に出来る範囲でお手伝いをさせていただきたいとの思いを強めている。

たちがその心の傷や恐怖心を少しでも癒すことができるよう、約120名の子どもたちとのアートワークショップを開催しました。ありあわせの教材や文房具で、やっとの思いで授業らしい勉強をしている子どもたちにとっては、筆と絵の具を見るのも使ってみるのもこれが初めてです。自分の気持ちを、言葉だけでなく、描くことでも表現できる楽しさを感じたようでした。

今回のアートワークショップには、仲間と一緒に絵を描くことを通じて、被災した子どもたちの心のケアをするという目的のほかに、世界の子ども同士が絵を通じてお互いを支え合う、思いをひとつに寄せ合うという体験にも通じます。今回フィリピンの子どもたちが描いた絵は、現在子供地球基金がすすめているタペストリープロジェクトに参加し、フィリピンからの強いメッセージとして、他国の子どもたちの作品とともにつなげられ、大きなタペストリー作品となります。子どもたちがこの大きなタペストリーとなった自分の作品をみること、子どもたちの環境がいまよりずっと明るいものになっていることを願います。



今回のフィリピン訪問ではもう一箇所、経済状況などにより親が育てることのできない子どもたちが暮らす孤児院[ベツレヘムハウス]を訪問し、約30名の乳児のための衣料品、ミルク、おむつなどの購入費の支援を実施しました。

## 展覧会

大阪・サントリーミュージアム天保山

大阪・サントリーミュージアム天保山(大阪市港区)では、天井まで高く続くコンクリートの壁を、世界中の子どもたちの絵 65点が鮮やかに飾りました。ご家族連れをはじめたくさんの方々に、世界中の子どもたちの絵に触れ、子どもたちからのメッセージを感じて頂くことが出来ました。

期間中の週末にはアートワークショップも開催。「世界のみんで手をつなごう!」を合言葉に、大阪の元気な子どもたちもタペストリープロジェクトに参加してくれました。

## KIDS EARTH HOME Project

キッズ・アース・ホームプロジェクト

### 第6号 キッズ・アース・ホーム再建完了のご報告



新校舎と子どもたちの様子

第6号キッズ・アース・ホームのあるカンボジア・カンダール州ソラウントン地区は、貧困地区とも言われ、ホーム(プレクトレング公立小学校)では約500人の子どもたちが基礎教育を受けています。

雨季になると道路のみでなく校庭も水浸しになるなか、それでも学校へ通うことを楽しみに、たくさんの子どもたちが遠くから徒歩で通学してきています。

学校校舎は壁や屋根が崩れ落ちるなどの老朽化が進む一方、子どもの数の増加により教



室数は不足。子どもたちの学習意欲の高さに応えられる環境を整えるため、三井住友銀行ボランティア基金のご支援のもと学校再建プロジェクトを実施しました。

2007年10月、再建は完了。新校舎とともに、女子児童職業訓練のためのミシン、さらにバレーボールコート・幅跳びやブランコ用の砂場・拡声器を新たに設置・購入しました。新学期がはじまると、新校舎には目を輝かせた子どもたちの笑顔が学校には溢れていました。



## KIDS EARTH CAR Project

キッズ・アース・カープロジェクト

### 慈恵医大 ～ミギヒダリリダヒギミ(右左左右)～



普段子どもたちが絵筆を持つのは利き手がほとんど。今回のアートワークショップでは、逆手で表現することの楽しさと難しさを体験しようと、両手を使ってのラインアートに子どもたちは挑戦しました。利き手よりも逆手に苦戦するかと思われましたが、子どもたちが口にしたのは意外にも「逆手には意識が集中するから思ったより上手に描けるけど、利き手はあんまり集中できなくて難しかった。でも、とっても面白かった!!」という言葉。今回は右左違う色を使い、両手を使っての表現に楽しさと新しい発見を見出したアートワークショップとなりました。

## タペストリープロジェクト



2008年、子供地球基金は創立20周年を迎えます。その記念事業の一環として、タペストリープロジェクトは既に動き出しています。タペストリープロジェクトとは、世界中の子どもたちが30cm四方のキャンパスに自由に絵を描き、これを繋ぎ合わせ大きなタペストリーにして世界各地で展覧会を開催しようというもの。

既に中国、クロアチア、ベトナム、カンボジア、パキスタン、セネガル、フィリピン、そして日本にてアートワークショップを開催。大好きな家族や友達のこと、将来の夢、楽しい思い出など、子どもたちが描く世界がひとつになり、大きなメッセージを発信します。

完成したタペストリーは、来年オリンピックが開催される北京やキッズ・アース・ホームが再建されるクロアチア、その他世界各地での展覧会を予定しています。

- 京都・左京区  
10/8(月)～18(木)  
ル・カフェ338にて
- 京都・左京区  
10/20(土)～28(日)  
京都外国語大学  
創立60周年記念事業「Imagine Peace」にて
- 京都・左京区  
10/27(土)～28(日)  
ノートルダム女子大学「ND祭」にて
- 東京・世田谷  
10/1(月)～31(水)  
沼田絵本美術館にて
- 東京・世田谷  
11/21(水)～12月末  
東京玉川日産病院にて
- 東京・世田谷  
11/14(水)～12/25(火)  
玉川高島屋S・Cにて
- 大阪・天保山  
10/26(金)～11/13(火)  
サントリーミュージアム(天保山)にて

### 玉川高島屋S・Cクリスマスチャリティ “ホワイトエンジェルプロジェクト” 開催中

「世界中の子どもたちに平和なクリスマス」をテーマに、玉川高島屋S・Cと子供地球基金によるクリスマスチャリティプロジェクトも今年で6回目。世界中の子ども達が描いた「クリスマス」や「平和」を題材にした作品を展示しています。スマトラ島沖地震とその後の大津波で被害を受けたスリランカの子どもたち、また東京の子どもたちなど、それぞれ助け合って完成した合作も登場します。

そして、2008年子供地球基金20周年記念事業のひとつ「タペストリープロジェクト」を、一足早く紹介。世界中の子どもたちがひとつになって発信するメッセージを是非ご覧ください。

開催期間:2007年11月14日(水)～12月25日(火)  
場所:玉川高島屋S・C 本館1階グランパティオ  
(田園都市線/大井町線 二子玉川駅前玉川通り)  
主催:玉川高島屋S・C